

オーソモレキュラー栄養療法
栄養アドバイザー養成講座

目次

1. 会社概要
2. オーソモレキュラー療法とは
3. 栄養療法の活用方法
4. ロードマップ
5. 研修の概要

目次

1. 会社概要

2. オーソモレキュラー療法とは

3. 栄養療法の活用方法

4. ロードマップ

5. 研修の概要

クリニック沿革

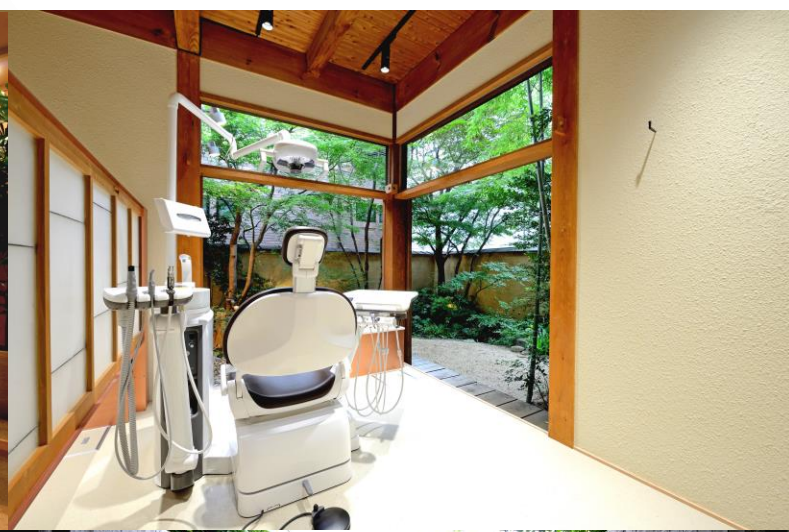
- ・1933年
初代 野上栄次郎が東京都文京区で開業
- ・1950年
埼玉県熊谷市で移転開業
- ・1981年
二代目 野上宏一へ事業承継
- ・1990年
医療法人化へ
- ・1999年
野上宏明が理事に就任
- ・2015年
三代目 野上宏明が理事長に就任
- ・2023年
90周年



・2019年～
28CliniC 南青山 開院



28CliniC



当院の治療方針について

口から健康資産を創る

28本全ての歯を健康に保ってほしい。28CliniCという名前はそんな想いに由来しています。自分の歯を失わないために、今ある歯に対し、より健康な状態を作ることが、28CliniCの使命です。

健康は最高の富であると考え、歯だけでなく、口腔環境、栄養摂取、消化吸収、全身の筋肉強化を中心に、あなたが日々の意識により築き上げている健康を確かなものにすることを目指しています。

当院は、歯は自分の臓器の一つであり、自分の歯や健康に代わるものはないと考える方のための、

絶対的な技術と自信と設備を持ったクリニックです。

28Clinic

カフェ



オーソモレキュラー栄養療法のすすめる
高タンパク質、低糖質なメニュー

内科



オーソモレキュラー栄養療法
栄養摂取、消化吸収
点滴療法

理事長紹介

- ・野上 宏明(ノガミ ヒロアキ)
- ・1974年生まれ
- ・医療法人栄宏会 理事長
- ・1999年歯科医師免許取得
東京歯科大学口腔外科研修医
- ・2001～2016年
帝国ホテル内 自費専門クリニック 役員/副院長
- ・2004～2006年
ニューヨーク大学留学
審美・インプラントコース卒業
- ・2015年～
野上歯科医院三代目として事業承継
- ・2017年～
28CliniC 野上歯科医院として予防クリニックへ改築



28CliniC

目次

1. 会社概要
2. オーソモレキュラー療法とは
3. 栄養療法の活用方法
4. ロードマップ
5. 研修の概要

オーソモレキュラーとは《 Orthomolecular 》

分子(=molecular)を整える(=ortho)と言う意味の
米国で生まれた造語で、Orthomolecular medicine を
「分子栄養学」「分子整合栄養医学」と訳すこともある



Ortho	整合
Molecule	分子
Medicine	医療・医学

オーソモレキュラー栄養療法とは

Orthomolecular medicine の概念に基づくもの

生体内に正常にあるべき分子
(molecule)を
至適濃度に保つ(ortho)
十分量の栄養素(nutrition)を
摂取することによって生体機能が向上し
病態改善が得られる治療法(medicine)

自らの自然治癒力を高め
病気の進行を防ぎ、症状の改善
さらに病気の予防を目的とする

オーソモレキュラー栄養療法とは

通常の治療法は表面的な症状の消失、あるいは緩和を主目的とする治療法に対して、栄養療法は病気の進行を止めて、自らの細胞が回復できるようにする治療法。

通常の治療との違い

薬は対処療法

- 症状を素早く抑えることができる
- 必ず大なり小なり副作用がある
- 生体本来のはたらきを妨げてしまう可能性

栄養は根本療法

- 身体に負担がない
- 患部改善だけでも身体全体をパワフルに
- 改善に時間がかかる場合がある

目次

1. 会社概要
2. オーソモレキュラー療法とは
- 3. 栄養療法の活用方法**
4. ロードマップ
5. 研修の概要

28Clinic

絶対的な技術と自信と
最先端の設備

全身の筋肉強化を中心に
一生自分の足で歩ける身体づくりを目指します

歯科



フィットネス



28Clinic



現状把握

- ・ 問診
- ・ 日頃の食生活や生活習慣の確認



血液検査

- ・ 多項目にわたる検査項目
- ・ 顕著な異常や隠れた異常の把握



計画

- ・ 検査結果、解析結果に基づきゴールを設定
- ・ プランニング



実行

- ・ オートモレキュラーに基づいた栄養療法の実施
- ・ 生活習慣の改善



評価

- ・ 問診
- ・ 再度血液検査を行い、栄養状態を確認

3～6ヶ月

栄養療法の流れ



現状把握

- ・採血時 **栄養アドバイザー**が問診
- ・問診票、お食事記録を記入し持参



血液検査

- ・70項目以上
- ・血糖値の項目、フェリチンなど検査



計画

- ・ドクターが診断
- ・**栄養アドバイザー**が食事について案内



実行

- ・食事の見直し
- ・サプリメント摂取



評価

- ・**栄養アドバイザー**が毎月经過を問診
- ・サプリメント摂取の経過を確認

栄養療法 クリニック内担当

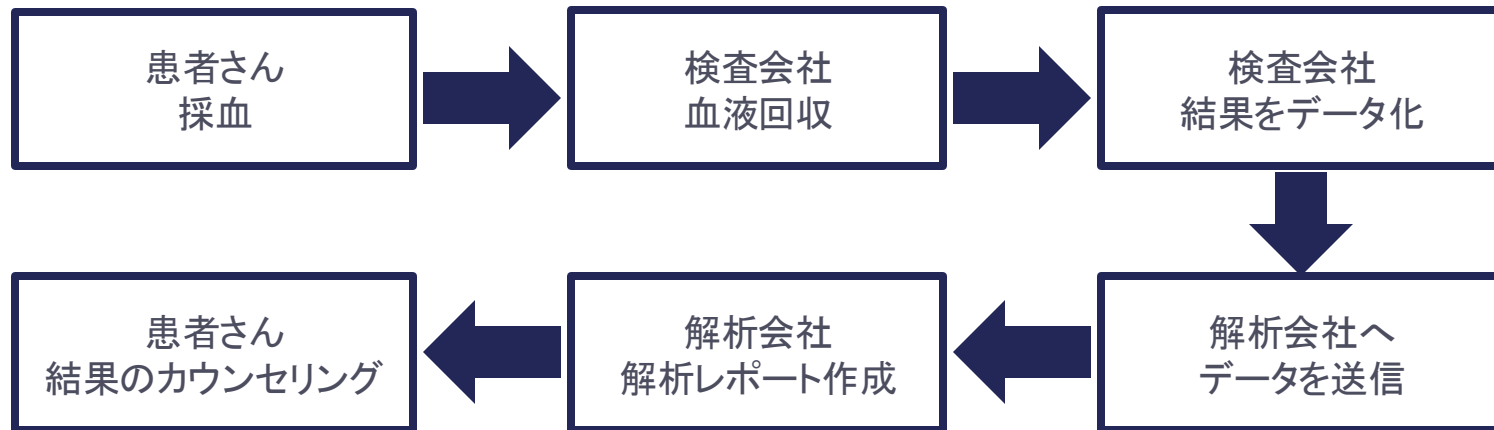
栄養療法の導入において注意が必要な点は、栄養アドバイザーは診断はできないということです。
医師法にも関わりますので、診断は医師のみができ、栄養アドバイザーは診断を伝えるのみできます。

栄養療法の内容	業務担当	業務担当
採血・問診	医師	栄養アドバイザー
治療計画	医師	
診断	医師	
カウンセリング		栄養アドバイザー
食事指導		栄養アドバイザー
経過確認		栄養アドバイザー
再採血	医師	

栄養療法 具体的な流れ

オーソモレキュラー栄養療法を導入するには、まず採血から始まります。採血結果を解析し、レポートを作成します。解析会社にて作成されたレポートを元に、自院にてお勧めする内容を決めてカウンセリングをすることが大切です。

採血からの6つのステップ



目次

1. 会社概要
2. オーソモレキュラー療法とは
3. 栄養療法の活用方法
4. ロードマップ
5. 研修の概要

栄養療法導入方法

オーソモレキュラー栄養療法を導入の際、各取引先との連携が必要です。採血の回収に来ていただく検査会社と、血液データを解析していただく解析会社やサプリメントの仕入れ先を決めることから始まります。

内容	契約先	準備するもの
採血 血液検査項目	検査会社と契約 LSIメディエンス	採血に必要な 器具等を準備
血液データから 栄養療法解析	解析会社と契約 MSS/KYB	問診票 解析レポート サプリメントレポート
医療用サプリメント	サプリメント会社と契約 MSS/KYB/分子生理科学	サプリメントの 仕入れ

栄養療法クリニック内導入方法

オーソモレキュラー栄養療法を、スタッフ一人一人が理解し、各自が栄養療法を取り入れることが必要です。
各自に必要な栄養を理解し体調を改善させることから始まります。

医師

栄養療法を理解する
食事を見直し、サプリメント摂取

栄養療法の説明ができる
血液データが読める
血液データから必要な栄養素がわかる
栄養素の働きがわかる
栄養不足の症状がわかる
カウンセリングができる

栄養アドバイザー

栄養アドバイザーを養成
食事を見直し、サプリメント摂取

スタッフ

スタッフ全員が
食事を見直し、サプリメント摂取

栄養療法の説明ができる
患者さんの様子からサプリメントのご案内ができる

栄養療法クリニック内導入方法2

オーソモレキュラー栄養療法をスタッフ一人一人が理解するために、全員が採血を受け自身の結果を理解し、改善に努めることが導入の鍵となります。

栄養療法を浸透させる勉強会

スタッフ全員が採血を受ける

毎年採血を受け、自身の栄養療法の
取り組みについて理解する

スタッフ全員血液結果をシェアする

自身の栄養療法の取り組み、摂取している
サプリメントについて、発表しシェアする

スタッフ全員が栄養療法の説明ができる

オーソモレキュラー栄養療法について、資料を見ずに説明できるようになる
勉強会を開催し全員が発表する取り組みをする

栄養アドバイザー養成導入方法

オーソモレキュラー栄養療法を導入するには、まず栄養アドバイザーを養成することが必要です。
栄養アドバイザーが習得すべき内容を紹介します。

栄養療法を進める9つのステップ

オーソモレキュラー
栄養療法を理解する

主な栄養素の
働きを理解する

栄養アドバイザーの
役割について理解する

総合栄養について
理解する

血液データの
解釈方法を理解する

カウンセリング
について理解する

体調不良について
理解する

栄養指導について
理解する

サプリメントについて
理解する

目次

1. 会社概要
2. オーソモレキュラー療法とは
3. 栄養療法の活用方法
4. ロードマップ
5. 研修の概要

病気になるしない身体づくり

オーソモレキュラー栄養療法を導入し、スタッフをはじめ、家族、私たちに関わるすべての方が、病気になるしない身体づくりのための取り組みをサポートします。

栄養療法を広める3つのステップ

オーソモレキュラー
栄養療法を理解する

スタッフ

毎日の食事を見直し
タンパク質を毎食摂取する

家族

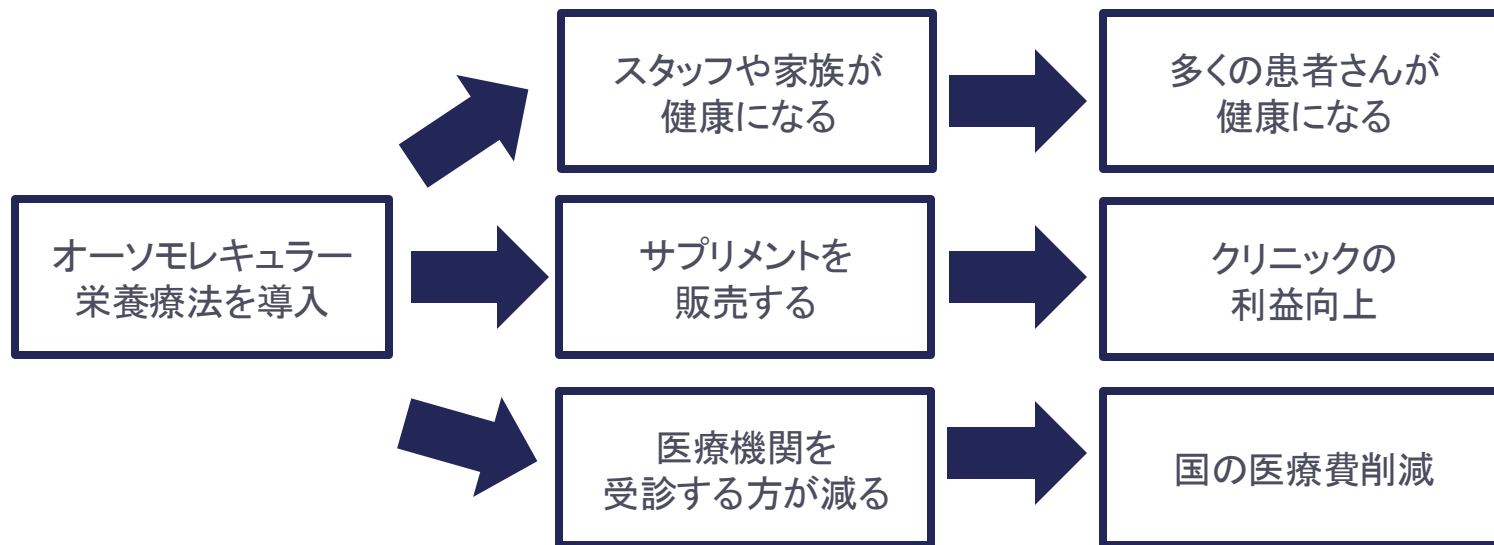
サプリメントで栄養補給し
至適濃度の栄養で健康増進

患者さん

医療費削減につながる栄養療法

オーソモレキュラー栄養療法を導入し、病気にならない方が増えることで国の医療費削減につながります。健康な方が増加、クリニックの利益向上、国の医療費削減の三方良しの取り組みとなる。

栄養療法を導入することによる影響



オーソモレキュラー栄養療法導入研修

オーソモレキュラー栄養療法/栄養アドバイザー養成講座

概要

オーソモレキュラー栄養療法をどのように活用できるかについて学びます。

- ・ オーソモレキュラー栄養療法とは
- ・ 栄養学について
- ・ 栄養アドバイザーの役割について

学習方法

e-ラーニング

契約期間

2ヶ月

標準学習時間

10時間

費用

400,000円(税込) / 1名

栄養療法カリキュラム(1/2)

#	カリキュラム	学習内容
1	概要と目的	• 研修の目的と目標 • 医療用サプリメントと市販のサプリメントの違い
2	オーソモレキュラー栄養療法の概要	• オーソモレキュラー栄養療法とは • 従来の栄養学との違い • 血液検査データについて
3	総合栄養戦略	• タンパク質、ビタミン、ミネラルの確保 • 腸内環境の整備 • 加工食品、食品添加物への留意
4	体調不良について	• よくある主訴を理解する • 倦怠感、体重減少、浮腫 • 頭痛、頭重

栄養療法カリキュラム(2/2)

#	カリキュラム	学習内容
5	栄養アドバイザーの役割	• カウンセリングとは • 栄養アドバイザーが行う栄養指導 • アドバイザーがお手本となるために
6	栄養学	• タンパク質、脂質、糖質 • ビタミンB,C,D • ミネラル(鉄、亜鉛、銅)
7	血液データを読んでみる 栄養指導実践	• 実践的に血液データを解析 • 食事のチェックポイント • 問診のチェックポイント
8	オーソモレキュラー療法の実用化	• カウンセリングの流れ • フォローアップについて • 実用化のための手順